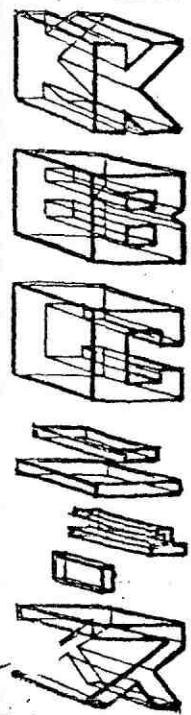


昭和54年(1979年) 11月20日

火曜日



甲府盆地無線倶楽部会報

障害乗り越え 県内初の快挙

平君が無線の資格を取ろうと決意したのは「もともとたくさんの人々と話したい。そして友達になりたい」という切実な願いから。全盲というハンディのため、どうしても交際範囲が狭かった。「多くの友達欲しい」というのは、同團に入所している児童、生徒全員の願いでもあるという。

平君にとって幸運だったのは、甲府盆地無線倶楽部(町田友次部長)の側面援助があったこと。同倶楽部は三年前から青い鳥学園に出向き、園生のために無線の講義を行ってきた。会員たちが分担して週三回、マンツーマン方式で一時間半にわたる電波法規、無線工学を教えてきたという。今回の快

全盲少年が無線の国家試験に合格

甲府市下飯田二丁目、青い鳥学園に入所している全盲の小学四年生がハンディを克服、アマチュア無線のボランティアグループの協力で見事無線従事者国家試験・電話級アマチュア無線技士に合格した。全盲でしかも小学四年生という年少者が合格した例は全国でも珍しく、関係者は少年の快挙に拍手を送って

いる。この少年は同市上石田四丁目、土木作業員山下延一さん(右の三男平君)の二男。県立盲学校小学部四年。先天性無眼球症で、生まれたときから目が見えず、四十六年四月に一歳八カ月で青い鳥学園に入所した。以来八年間ハンディと闘いながら、たくましく快活な少年として育ってきた。

平君は無線ボランティアの成果でもある。平君は「合格を知られたときは信じられなかった。とてもうれい。自分のコールサインはまだ送られてこないが待ち遠しい。早く世界中の人と話してみたい」と喜びを話している。一方、吉川宗武甲府盆地無線倶楽部事務長も「全盲でしかも十歳の年少者の合格は全国でも珍しい。県内では初めてだ。よくがんばってくれた」と賛辞を送っている。

世界中の人と 話してみたい

青い鳥学園の山下君



カ月後に控えた八月から、無線の講義を受けたあと毎晩二時間ずつ独学を続けた。講義の内容を自ら点字用タイプライターに打つてまとめ、無線に関する点字本を読破し、これもタイプライターでまとめ直した。まとめた点字は大学ノート五十枚に及んだという。

KBC各局の積極的なボランティアと講師の教育又本人達の努力が実り、四月国試合格の若尾勝君について中一の横内明君と小四でしかも全盲の山下平君が見事十月に行われた電話級アマチュア無線技士の国試に合格して、関係者は勿論KBC各局も快挙に拍手を送っている。又若尾君のマイコールはJM1FWJ、コールが聞えたらよろしく!

連載 2

アマチュア無線 25 年史

JA1 BDE

BFな受信機なれど一応アマバンドが入るのでホッと一息ついたが、うっかりダイヤルにさわるうものならMHz位はアッという間に上下してしまい、周波数を合わせるのには随分苦労した。(どんなBFなRXでも自作のものには愛着があるものです)。

欲を出しても仕方がないので、自分これ我慢し、開局の時にBFなRXを作ればよい。自分自身をなぐさめ、いよいよ無線従事者の免許取得に向けて勉強を開始する?



あれやこれやの技術雑誌を読み、又問題集等も総て頭へたたき込み、これでどの問題が出てOKと自信がもてたので願書を出した。

(居候の身なので、何回も受験する分にはいかなかった。一発必中である)。

一次試験は電通大だったと思う。東京という随分遠くに感じた時代なので、電通大が見えるまでは何となく不安だった。(次回よりだんだんおもしろくなるよ。)

つづく

KBC ボーリング大会

来る12月16日(日) KBC ボーリング大会を行います(賞品多数)。各局の珍プレーを楽しみにしていますのでふるって御参加を御まわしています。

尚、大会終了後忘年会を予定しています。

日時 12月16日(日) 16.00 スタート

会場 大丸パークレーン

会費 1,500 円

忘年会 自由参加、会費未定

J I I J Y

KBC 技術口座



此の度広報部からKBC ニュースに技術部からという依頼がありました。本当でしたら部長のJ I I WNA局からお話があるのですが、J I I WNA局は他の原稿に追われています。そこで私が若輩ながら筆をとった訳です。さて第一回目の技術講座は「モビルのノイズ」ということで書いてみたいと思います。日頃私たちがモビルで運用する場合、ノイズは大きく分けて2つあります。それは外来ノイズと自己ノイズです。ではこの2つのノイズにはどんなものがあるか調べてみましょう。

- 空電
- 外来ノイズ { 他モビルのイグニッションノイズ
モビルの外から聞こえてくる音
(自分の車から発生する音を除く他の音)
- 自己ノイズ { オルタネーターノイズ
イグニッションノイズ
エンジンの音や風切音

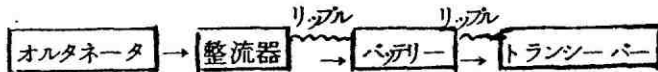
などなどです。細かく分析していきますとまだあると思います。それではこれらのノイズを少なくするにはどのようにしたらいいか考えてみましょう。

外来ノイズの中で自分で出来る事はモビルの外から聞こえてくる音です。これは車の窓を全部締めてしまえば良いのです。他の2つは自然現象またはトランシーバーの性能で左右されますので、ある程度の所までしか対策は出来ません。自己ノイズはどうでしょうか? エンジンの音とか風切音は車の特性でまきまきしますので、車を購入する時によく考えて購入してください。イグニッションノイズは「バリバリ」とか「バリバリ」というノイズです。信号待ちで停車している横をオートバイが通ったりしますとよくはあります。(この場合は外来ノイズになります) オートバイなどが通っていないのにノイズがする時(野原などの場合)はアンテナや同軸ケーブルを調べてください。又トランシーバーの本体も太い線でボディにアースを取ってください。基台のアース浮きもないか調べて見る必要があります。

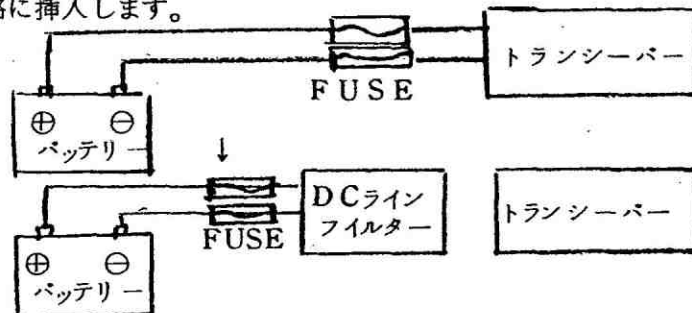
新会員紹介

局名氏名	TEL	血液型	生年月日	無線免許証取得年月日	住所	勤務先
JL1RXK 半田 修	0552-53-3464	AB	S23.2.23	EAAN-6253-51.12.18	甲府市湯村2-6-21	住友化学工業
未 志村順也	055276-2990	O	S13.1.29	AADN-13385 54.11.5	中巨摩郡竜王町田中955	憐内田印刷所
中沢孝雄	0552-35-6512	AB	S18.7.14		甲府市城東2-17-15	中沢彫金所

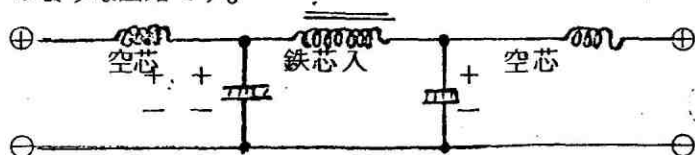
なおディーゼルエンジン車は自己ノイズとしてのイグニッションノイズはありません。なぜならばディーゼルエンジンは混合気点火に高電圧を使用していないからです。最後にオルタネーターノイズです。このノイズは自分よりも他の局(受信している局)に不愉快な思いをさせます。どの様なノイズ音かといいますとエンジンの回転数に比例して「ヒューヒュー」という音が出ます。多くの方が聞かれたと思います。オルタネーターとは交流発電機のことです。このノイズは下図の様に伝わってきます。



トランシーバーの中には一応平滑回路がはいっていますが平滑容量を越えたリップルが来るとこのノイズが出てしまいます。またバッテリーがくたばっている時などよくこのノイズが出ますので特に夜多くモビル運転される方は充電をしっかりとっておきましょう。さてこのノイズを除去する方法ですが一番効果的なのは市場に出回っている「DCラインフィルター」を付加することです。価格は2K~4K位です。少し腕に自信がある局長さんは自作してみたいかがですか? 「DCラインフィルター」は下図のように回路に挿入します。



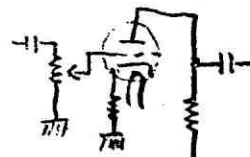
なぜヒューズのあとに挿入するかといいますと、もしDCラインフィルターが故障した場合、このヒューズが大きな事故を未然に防いでくれるということからです。自作される方は無線工学の電源の所を思い出してください。平滑回路の所です。市場に出ているDCラインフィルターは下図のような回路です。



バッテリーとトランシーバーとの接続は回路を見ての通り極性(+)を間違わなければ入口、出口は自分の好きな方でもかまいません。

以上簡単であります「モビルのノイズ」についてお話ししました。何かわからない所がありましたら技術部の方までお申し出ください。

技術部 J I I WNA
J I I S J E



今後共よろしく!

ラジオ放：目アンテナは1/4入GP

ラジオ放送用
水平面内は
垂直面は
放射は

1/4入のアンテナは垂直方向指向性はAで、

(短縮コンデンサA→Bになり現
エーシング防

実際のアンテナは高さ10m 65m等標準鉄塔に頂環を付けて使われています。甲府盆

等時は注視して、い

— 私のパート1 —

オーディオに興味を持ち出したのは、20才の成人の日でした。音楽はぜんぜんだめで小学校、中学校の頃は音楽の時間は小さくなって。音楽に差されるのが恐くて、でした。でもテストで1人1人きかれた時に、先生より「だめだ、君はオンチだ」なんていわれた時は、ナクショー、音楽なんて一生やらないぞ！なんて思いつめたのです。ですから現在でも聞く方は良いのですが、歌う方はカラオケなんてとんでもないという心境ですので、次回皆さんで歌を歌うような機会がありましても、J I I WNAさんだけは免除して下さい。

で、とっぜんオーディオを始めたのかといいますが20才の成人式の帰りに、仕事仕事の明け暮れの毎日でしたので、友達も少なく彼女なんてものももちろんありませんでした。それで一人さびしく県民会館よりの帰り道、なんとなくオリオン通りのイイジマ楽器でステレオレコードなるものを買って帰りました。リカルドサントス楽団の「ホリディー・イン・ジャパン」というやつで、ステレオそのものは知っていましたが、家に帰りコロンビア「DSC」という安物のステレオで聞いて驚きました。音の広さ、音の綺麗な事、あっと驚くタメゴロウでした。今考えてみれば無理ありません。おやじの手まきの畜音機と45回転のEPの出はじめのステレオしか知らないのに一流のミュージシャンと、最新の録音のレコードを聞いたのですから。それから始まり、もっとよい音を、コロンビアの「DSC-78」当時10何万位だったでしょうか。おやじを拝み倒して買入して、半年位は少ない小づかいでLPステレオレコードを買いあさりました。

しかし内心は、もっともっと良い音が出るステレオがあるのだろうと思っている所へ、当時甲府ラジオサービスステーションという家電の間屋さんのサービス課に古屋さんという方がいて、本当に良い音の出るのはパイオニアとかサンスイ、ニートとかコーラルとかラックスとかその他...専門メーカーの方がずっとFBな音がすると教えられて頭に血が上ってしまい、それから十数年というものは、持てる力(大した給料ももらっていなかったのですが)の金をオーディオにそそぎパイオニアのPW38のウーバーがどう

したの、コーラルの15L-1のウーバーがよいの、ツイーターは何がよいのと音楽を聞くというより(もともと音楽はにがてです)音の良し悪しをいろいろ集め、組み立てたり、分解したりの連日でした。そうこうしている内にソニーもオーディオに力を入れだして来て、当時ソニーのサービスに滝井という同級生がいて、たまたまサービスでいったオーディオの気狂いがいるので行かないかとさそわれるまおじ+まして驚きました。当時紙のラッパの音しか聞いたことのない私にホーンスピーカーの音を聞かせてくれたのでたまりません。それとかなりの音量で、マックスローチの「三枚の絵」というマックローチのドラムと彼のXさんのボーカルでしたが、途中でもうやめてくれといいたくなるような音でした。

それからもう、自分の音の悪さに頭にきて、ねては夢起きてはうつまぼろしのホーンスピーカーでした。そして病高じて、ついに部屋に作りつけのオールホーン4WAYを相生町の店の2階で作りました。そして27.8才の頃でしたか、おやじにお前もボツボツXを持つ年ごろだといわれて、ハッと気づいた時、全ての金をオーディオにつぎこんでいたのでどうにもならずでした。でも世の中不思議ですね。この私のような気狂いにもどうにか所帯を持つことが出来るんですから。それから数年、相変わらずオーディオ狂いでしたが、ある日現在の音よりグレードアップをと考えてソロバンをはじきましたら、数百万の金が出て解ると何とべからしくなり、それからしばらく考えました所、たまたまタクシーにのりまして、タクシー無線の音声を聞いて音の良いのに驚きさっそく調べましたら、良い訳です。FMですから、なんとFM放送と同じではありませんか？(当り前の事です)。それからオーディオは「QRT」してJ I I WNAのコールをもらい現在に致りました。

最後に現在の私のオーディオ装置を説明いたします。まず音の入口はソニー「TTS-300A」ターンテーブル、カートリッジはデンオンDL-103Dをメインに各社有ります。デッキはティアックの38cm、その他プリアンプはマッキンC-28、ソニー2000F、メインはアンプマルチチャンネルで4WAYです。スピーカーはウーバーJBL、4560、2220Bでショートホーン。スピーカーはYL555にチタンの振動板が入っています。ホーンはカットオフ150 $\frac{1}{s}$ のアルミヘラシボリのホーンにセメントデットニングしてローカよりリスニングルームをのぞいています。ツイーターはオンケンのOS-500MTというカットオフ500 $\frac{1}{s}$ の木製砂入りホーンです。スーパーツイーターはオンケンのOS-1000TTとJBL2405のラインナップです。先日、今年のオーディオフェアを見聞して来ましたが、まあ何んといひ、昨今の時代の新歩はおそろしいもので、ついにわがリスニングルームも10年昔の音となった事を確信いたしました。若き血の燃える時の音ですが、皆さん各局おひまがありましたらひやかしにおいで下さい。まずいコーヒー位はいつでも出します。

あるQSO

JA1VHD 今日は甲府バイパスはWNAだ

J I I WNA それはどういう事ですか？

VHD ガラガラだ！

WNA ガチョン……………アッハハハハハ